

會議錄

会議の名称	令和6年度 第2回和泉市教育委員会評価委員会	
開催日時	令和6年5月16日（木）午前10時00分～午前11時40分	
開催場所	和泉市役所庁議室	
出席者	教育委員会評価委員会 委員長 平良 伸哉 委員 杉田 菜穂 委員 川口 厚 教育委員会事務局 教育次長兼生涯学習部長 辻 公伸 教育・こども部 部長 東 直樹 学校教育担当次長兼教育総務課長 鍛治 公哉 教育総務課長補佐 大西 薫 教育総務課企画係長 吉田 昌史 教育総務課総務係主事 西川 世理奈 生涯学習部 文化遺産活用・久保惣記念美術館担当次長兼 文化遺産活用課長 森下 徹 生涯学習推進室長 前田 志織 生涯学習担当課長 橋本 吉人 スポーツ振興担当課長 富岡 大作 青少年センター所長 藤原 寛 久保惣記念美術館館長代理 田中 ゆかり 久保惣記念美術館総括参事兼副館長 橋詰 文之 文化遺産活用課長補佐兼文化遺産活用課係長 千葉 太朗	
審議内容		
取組項目番号 16		
杉田委員	和泉市民大学については、できるだけ多様なニーズを取り入れる他、ハンデキャップがある方への対応や、子育て中の方への配慮等、多様な人が受講できる環境の検討を含めて継続して取り組んでいただきたい。	
平良委員長	青少年の家について、南部地域の活動の拠点ということであれば、屋内活動も想定されているのか。	
橋本課長	大阪府が整備した「こもれびの森」という公園や、西国の四番札所で	

	ある槇尾山施福寺や、道の駅、開校予定の槇尾学園といった様々な施設があるので、それらの施設に来られた方が集い、利用できるような拠点として整備を進めていきたいと考えている。
取組項目番号 19 平良委員長	水銀灯から LED 照明に変更すると、電気代がどれくらい安くなるのか。
富岡課長	水銀灯から LED に交換した場合、75%程度の節電効果があると言われており、令和 5 年の電気代で算出すると、年間約 250 万円の 4 分の 3、約 190 万円の節電になるとを考えている。また、LED の方が長寿命ということで、その効果も意識している。
平良委員長	利用者負担が少なくなるよう、計画的に進めていただきたい。
取組項目番号 20 平良委員長	子どもたちへは、文化・芸術を触れさせることで興味を育み、芸術家を育てるなどといった取組についても検討いただきたい。
取組項目番号 21 平良委員長	「和泉市の歴史文化に誇りを持っている」と答えた市民の割合が 51.3%と、意外に低いと感じた。郷土史読本を活用して、市民に PR していただきたい。
取組項目番号 22 平良委員長	取組の成果にある「和泉市文化財 TV 及び HP の PV 数の増加」については、SNS での発信に高い効果があるように感じる。インフルエンサーを起用するなど、来訪者を発信源にして、多くの方の興味を引く方法について、検討いただきたい。
取組項目番号 21、22、23 杉田委員	この取組は、教育行政であるものの、観光にも関わってくるところである。コロナ後、来訪者の回復状況、外国や遠方からの来訪状況はどうか、現時点と先の見通しをどのように見ているのか。
森下次長	文化遺産活用課の所管施設については、コロナ前までの回復はできていないが、この 2、3 年は少しずつ来訪者が増えている。文化遺産を紹介

	するパンフレット、ホームページ等は英語、中国語、韓国語などを用意しているが、外国からの来訪者は少ない状況である。
田中館長代理	久保惣記念美術館においては、コロナ前までには至らないが、回復してきている。インバウンドに関して正確な累計は取っていないが、コロナ前ほど海外のツアーで来ている状況はない。
杉田委員	<p>万博開催では、大阪市だけでなく、府下、近畿圏内で経済効果をもたらすと言われている。本市は閑空からの動線もよく、府、市への働きかけなど、情報発信で外国人観光客の導線が大きく変わってくる。</p> <p>長期的に人口が減っていく中、市のブランディングに結びつけ、他の部署と連携して取り組んでいただきたい。</p> <p>外国人の方へアンケートを取るなど、統計を取れば参考になる。久保惣記念美術館は外国人の方の心を掴むものがあると見ているので、これを機に縦割りを見直す視点を持っていただければ、良いと思う。</p>
取組項目番号 23 平良委員長	令和4年度の課題において、「施設の老朽化が顕著で、不具合箇所が増えてきているため、緊急修繕が増えている」とあるが、あらかじめ予想できているのであれば計画的に修繕するのが良いと思うので、見通しを持ってやっていただきたい。
取組項目番号 24 平良委員長	青少年を非行から守る市民大会参加者数という、成人を対象とした事業の参加者数を目標値としていることについて疑問を感じている。例えば、警察が実施している非行防止教室の参加者数など、子どもを対象とした目標値について検討いただきたい。
杉田委員	市民に子どもたちの健全育成に关心を持つもらうという点では、この目標設定も妥当なところがあると思う。青少年を取り巻く環境、児童を取り巻く環境が変わってきている点に危機感を持ち、教育行政以外との連携も踏まえた取組みを考えることが重要である。
取組項目番号 26 杉田委員	コロナの前後、中長期的にどのような変化があったか。

藤原所長	令和5年度はインフルエンザが非常に流行した一方、令和4年度に比べると、延べ参加者数も増加しており、一定落ち着いてきたと判断している。
杉田委員	コロナの経験を教訓として柔軟な対応ができるよう、ニーズの変化等を活かした取組をしていただきたい。
川口委員	取組の成果における達成目標が、参加率100%となっているが、申し込んだ方が全員参加するという意味なのか、100人募集のところに100人応募するという意味なのか。
藤原所長	募集人数に対する応募人数で参加率を算出している。 ただし、応募人数が募集人数を超える（参加率が100を超える）ものは、参加率を100として、全体の平均値を算出している。
川口委員	参加者の満足度という指標の設定についても、参考までに提案する。
平良委員長	利用者アンケートについて、アンケートの内容とニーズ把握について、分かることで教えてほしい。
藤原所長	アンケートは、参加事業について、「とても楽しかった」「楽しかった」「あまり楽しくなかった」等、満足度について調査している他、新規で実施してほしい講座や、継続を希望する講座等、内容について調査している。
平良委員長	講座内容だけでなく運営面についてのニーズも把握し、改善について検討していただきたい。
取組項目番号 27 川口委員	令和4年度、令和5年度の課題において自習室が挙げられており、図書館全体において自習室が重要視される課題なのかという疑問をもつた。自習室の利用について、中高生など勉強のための利用、広い意味での市民の一般利用、どのような方をターゲットにしているのかによってアプローチの仕方が変わってくると思うので、お気づきの点があれば説明いただきたい。

橋本課長	自習室には Wi-Fi を設置し、広く市民の方々に使っていただけるような取組みを進めている。デジタルサイネージや、和泉シティプラザのマルチビジョンを用いた自習室の周知に努めている。
川口委員	中高生以外の一般の利用に絞った利用率の変化が把握できれば、取組みの効果が把握できるのではないか。
取組項目番号 28 杉田委員	電子図書の利用を子どもたちにも促すということなので、電子図書の貸出冊数のデータがあれば取組の効果が把握しやすいと思う。
平良委員長	課題と改善策において、「今後開校予定の小中一貫校における学校図書館の電算化」とあるが、それ以外の小中学校の図書館の電算化はできないのか。
橋本課長	紙媒体で管理している学校も多くあると聞いている。バーコードを用いて管理している学校もあるが、目標としている市立図書館システムとの連携には至っていないため、課題と改善策に挙げている。
取組項目番号 29 杉田委員	交換学生の派遣について、75人の応募者から6人を選考した方法は。
橋本課長	応募理由や、参加経験の活かし方についての作文と、日本語と英語での面接により選考した。
川口委員	選考された6人のうち、市立中学生と私立中学生の内訳は。
橋本課長	応募者75人中、私立中学生が8人だった。名前、学校名は伏せて選考した結果、市立中学生6人が選考された。
川口委員	交換留学生派遣後、大学生くらいの時に、市の行事や学校等で発表いただくなどすると、子どもたちがイメージしやすくなると思う。
橋本課長	派遣学生には講習に参加いただき、体験をフィードバックしていただくようにしている。ただ、市の国際交流イベントには、参加いただいているので、今後、国際交流事業に寄与していただけるよう事業展開し

	ていきたいと考えている。
平良委員長	交換学生が作成した報告集の活用方法や派遣事業の報告会の開催方法は。
橋本課長	報告集は、概要版を市内の中学生全員に紙で配付している。概要版にQRコードを記載し、全編をデータで閲覧できるようにしている。報告会は、昨年度、いすみそれいゆライオンズクラブ開催の三市一町中学生のメッセージというイベントにおいて報告発表をさせていただき、広域の中学生にも情報発信できた。
その他 川口委員	成人向けの日本語指導について、定員が超過している状況があり、ニーズが多いのか、指導者が不足しているのか、課題と感じた。日本語教師の国家資格化といった社会の動きもあり、今後、外国籍の方が在住する可能性は大いにあり得ると思うので、その下支えとなる語学指導について現状どう取組みされているのか、分かる範囲で教えていただきたい。
橋本課長	生涯学習担当では、日本語サロンという外国の方に日本語を教える講座を、和泉シティプラザと和泉図書館集会室の2か所で開催している。毎年日本語サロンに協力いただけるボランティアの養成講座を開催しており、指導者の数は増えているものの、会場の都合上、和泉シティプラザでは定員超過している状況である。今後、受講希望数が増える状況が続く場合は、教室の数を増やすなどの検討が必要だと考えている。
杉田委員	この取組が報告書に入っていないということなので、次年度以降の記載について検討いただきたい。
その他 川口委員	事業の見直し再検討について、中止や発展的解消といった視点も大事かと思うが、そういった対応をしたものはあるか。
鍛治次長	事業の見直し再検討については、事業の性質として単年度では進まないものもあるので、毎年同じような記載が見受けられる部分もあるが、発展的解消も見据えた根本的な見直し、取組みは進みつつあると認識している。

杉田委員	事業の見直しについては、できるだけ早い段階から先を見通して戦略的に行なうことが重要かと思う。
------	--